
愛詩

駄文龍

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛詩

【Nコード】

N0825V

【作者名】

駄文龍

【あらすじ】

57とか法則無視って書いただけ、要するにチラシの裏でs（ry
いつか作詞作曲したいなあ……そんな俺の発想は昭和ですか？ww

w

喜び出会は蜜の味……

今は終を知らないで嬉々として嬉々として……

甘露の様に一雫垂らしてみてはくれまいか

柔く締める心の臓……

病の如く苦しむ己を包んでくれやしませんか

刹那に包む幸せに己の全てを捧げよう

初々しくもホロ苦いこの出会いへと

弾ける想いをこの唄に乗せ……

今日は……こんなにちは……

貴方と永久に過ごしたい……

近づく終わりが早すぎて速すぎて……

幸福の関のまま時を止めてはくれまいか

触れる事すら叶わぬとも……

永遠を共に過ごしてくれやしませんか

貴方の姿に想い馳せその温もりを感じよう

塩辛い水で並々と注ぐ器へと

届かぬ声をこの歌に乗せ……

在り難や……ありがたや……

始めと共に終わり有り

儚き夢と知れども知れども……

溢るる想いに如何して耐えられようか

刻下迫する狭間より

苛む己を晒ってくれやしませんか

道化の様に踊り狂えど気にはせぬ

唯只管に世界の違う貴方へと

散り塗る恋をこの詩に乗せ……
然様なら……さようなら……

出逢い、契り、別れ

大切な物が欲しけれど欲しけれど……

有象がこの世の全てでは有りませぬ

不肖の御身の軀でも

無象に己を残しましょう遣しましょう

何時かは想いも忘却の彼方へと

去り往く私にこんにちは

去り逝く貴方にありがとう

永遠に……さようなら……

- - - -

字数稼ぎ中

- - - -

幾度、幾歳、言葉を重ね

何度も何度も貴方に貰う

飾り立て、上っ面、張り付けただけの言葉より

飾り気のない月並みの、質素な言葉を携えて

無骨な言葉と照れ隠し……ただそれだけで満たされる

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0825v/>

愛詩

2011年10月9日04時13分発行